



# 祖師谷

学校だより No. 1 2  
 令和8年2月27日発行  
 世田谷区立祖師谷小学校  
 校長 小俣 和也

## チーム祖師谷小

校長 小俣 和也

校長室の窓を開けると、心地よく入ってくる風が、春の薫りを運んできます。今年度も、いよいよ最後の月を迎えます。子どもたちは、現在の学年での学校生活を終えようとしています。そして、どの子どもも心身ともに一段と成長した姿を見せてくれています。嬉しい限りです。ぜひご家庭でも、お子さんと一緒に成長を喜ぶ時間をつくっていただきたいと思います。その時間は、「自分って、ちょっと変わったな。」と思う自己肯定感を高めることにつながるはずです。

さて、以前、スポーツの報道で、冬季オリンピックに向けて取り組む選手とスタッフの話がありました。ここでは、選手の日々のたゆまぬ努力の積み重ねと同時に、選手を支えるスタッフの献身的な行動が紹介されていました。例えば、スピードスケートの選手のために、レース用スーツを調整するスタッフは、夜を徹して縫い直したり、スキーやスノーボードの板にワックスをかけるスタッフは、競技場を奔走し、雪の状態を見極めて、最も適したワックスをかけたりしているそうです。このように、見えないところでたくさんの人たちが選手を支えているからこそ、選手は思う存分力を発揮できるのです。これらのことを通して、たとえ競技が個人種目であっても、チームで戦っていることを感じました。これは、学校も同様です。子どもたちが自分のもっている力や可能性を思う存分発揮し、自分や仲間の思いの実現に向けて、豊かに学習や生活を送ることができるよう、様々な立場の人たちがチームとして協力し合い支えてくれています。私は、保護者、幼稚園・保育所・中学校、新 BOP、児童館、まちづくりセンターや地域の企業、事業所、諸団体などの皆様方は、「チーム祖師谷小」のかけがえのない大切な仲間だと思っています。学校は、今年度もたくさんの方々から支えられてきました。子どもたちの学習で多大なご支援をいただいた他に、登下校時の安全確保、朝の読み聞かせ、畑の手入れ、夏祭りやキャンプなど、ご紹介しきれないくらい、様々な場面で支えていただきました。

今年度1年間、学校がいただいた皆様方からの温かいご支援をこれからの教育活動に生かして参ります。そして、子どもたちが大人になったとき、夢や希望に向かって道を切り拓いていくもとなる力や態度を育てていきたいと思っています。

3月25日には、6年生110名が祖師谷小学校を巣立っていきます。これからも、本校の卒業生として、引き続きあたたかく見守りくださいますよう、お願いいたします。1年間、ご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 【重点目標の取組について】

よく考え進んで学習する	明るく思いやりのある	進んで体をきたえる
<p><b>道徳授業地区公開講座・人権教室</b></p> <p>今年度も全学級で道徳授業の公開を行いました。人権教室ではピアニストをお招きし、「命のコンサート」を実施しました。参加した5・6年生は、命の大切さに対して考えを深めました。保護者の皆様にはアンケートにもご意見いただきありがとうございました。今後とも、本校の道徳教育へのご理解とご協力をお願いいたします。</p>	<p><b>6年生を送る会に向けて</b></p> <p>6年生を送る会は、下級生にとって、今までお世話になった6年生へ感謝の思いを伝える会。そして卒業式には出られない1～4年生にとって、6年生との最後の大きな行事です。6年生にとっては、その堂々とした姿を見せることのできる最後の機会です。今、それぞれの学年の思いを込めて、出し物の練習を頑張っています。</p>	<p><b>運動の日常化</b></p> <p>気温が低い日が続いていますが、子どもたちは休み時間外で元気に遊んでいます。鬼ごっこやドッジボールだけではなく、体育の授業で取り組んだバレーボールやバスケットボール、旬間で行ってきた短なわや長なわなどの遊びも見られるようになりました。運動を日常的に行い、進んで体をきたえる児童が増えました。</p>